



令和5年度

第1回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会資料

令和5年8月2日 高知市総務部政策企画課



▲圏域内各地域の魅力伝えるプロモーション動画「高知で見つけた、旅の12色」（広域観光推進事業）

▼関西での物販イベント「はじめまして こうちフェア」（地場産品販路拡大推進事業）



▲ハンドメイドECサイト「Creema」特集記事「高知ものづくり紀行」（伝統産業推進事業）



▼WEB漫画家・ミツコ氏独自の視点から高知の魅力伝えるWEB漫画「こうちプチ移住旅」

▼オンライン移住相談をテーマにしたPR動画「正直すぎる移住相談員」（二段階移住推進事業）



第2期ビジョンに登載・反映したもの

No	項目	ご意見の内容	市町村名	フェーズ	検討・対応状況
1	生涯学習推進事業	生涯学習に対する住民ニーズの調査・分析結果に基づく取組は圏域の生涯学習推進に寄与するものとする。圏域全体でノウハウ不足や財政面等の課題解決につながる取組を、夏季大学のオンライン化なども含めて検討いただきたい。	室戸市 安芸市 四万十市 香美市	登載済	・いただいたご意見を踏まえて、令和4年度第1回及び第2回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会において委員の皆様へご報告のうえ、第2期れんけいこうち広域都市圏ビジョンに登載し、事業化いたしました。 ・圏域全体で生涯学習推進を図るため、住民ニーズ調査の実施、また、その結果等を踏まえた夏季大学をはじめ市町村が実施する講座の広域開催など、具体的な連携方法について連携市町村と協議しながら、事業を推進してまいります。
2	SDGs推進事業	SDGsを切り口に圏域住民の地域課題に対する関心を高め、関係人口形成を進めるとともに、圏域が一体となりSDGs推進の機運醸成を図る必要がある。	安芸市 四万十市 土佐町	登載済	・いただいたご意見を踏まえて、令和4年度第1回及び第2回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会において委員の皆様へご報告のうえ、第2期れんけいこうち広域都市圏ビジョンに登載し、事業化いたしました。 ・圏域全体のSDGs推進、また、地域の担い手育成・関係人口創出等を図るため、適宜、連携市町村と協議しながら事業を推進してまいります。

意見・提案を事業内容に反映したもの

No	項目	ご意見の内容	市町村名	フェーズ	検討・対応状況
1	日曜市出店事業 圏域事業者販売等支援事業	連携市町村で開催される街路市にも、高知市やその他市町村の事業者が出店できる仕組みにできないか。	香美市	反映済	・各連携市町村で開催される街路市への出店は、出店者の販路拡大や街路市の活性化等に資する有意義な取組と考えますが、日曜市への出店者からは開催曜日が重複することへの懸念を示されるご意見が一定数あり、実現は困難と考えられますが、一例として、圏域事業者販売等支援事業において圏域住民等向けの地場産品販売イベントを開催しておりますので、こうしたイベントを通じて、来場者の方々に各連携市町村へも足を運んでいただき、街路市等を盛り上げる一助となるようPRに取り組んでまいります。
2	統計データ活用事業	EBPMの推進にも有効である地域経済循環分析の作成など、様々なテーマを加えながら取組を充実していただきたい。	香美市	反映済	・統計データ活用事業では、より実践的なデータ分析・政策立案能力の向上によりさらなるEBPMの推進を図るため、第2期からはツールや手法に関する研修だけでなく、最新の社会経済情勢の動向なども研修テーマとして取り入れ、取組の拡充を図ることとしています。 ・研修テーマ等は、適宜、連携市町村の皆様にもご意見をお聞きしながら検討してまいります。

れんけいこうちの枠組み以外での対応を図るもの

No	項目	ご意見の内容	市町村名	フェーズ	検討・対応状況
1	広域観光推進事業	NHK朝の連続テレビ小説「らんまん」を積極的に活用した、取組効果が圏域全体に波及するような取組がれんけいこうちでも必要と考える。	安芸市	I 協議会対応	・「らんまん」を活用した取組については、県が主体となり立ち上げた「連続テレビ小説を生かした博覧会推進協議会」を中心に様々な取組が始まっており、本年3月には高知県観光博覧会「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」が開幕いたしました。メインエリアである牧野植物園や佐川町の牧野富太郎ふるさと館、越知町の横倉山自然の森博物館や、インフォメーションとして位置づけられている桂浜公園及びこうち旅広場を起点とし、県内の観光地と連携した周遊促進が図られております。 ・「らんまん」を契機に高知県全体の露出量が増え、注目度が高まっているこの好機を最大限に生かし、れんけいこうちでは、高知県へお越しいただいた観光客のさらなる圏域周遊の促進につながるよう、帯屋町の観光ナビツアーリストセンターも活用しながら、圏域全体の魅力発信に取り組んでまいります。 ・また、観光気運の高まりを一過性で終わらせないため、県内各地域のプロモーション動画やデジタルマップ等を活用し、観光情報の発信を強化してまいります。

総括

令和4年度は第1期れんけいこうち広域都市圏ビジョン計画期間の最終年度であることから、第2期を見据え、各事業でこれまでの成果や課題の整理を行いながら、第1期の目標達成に向けた取組を着実に進めてきた。また、「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」をはじめとするコロナ禍での事業者支援等の取組を引き続き実施したほか、それぞれの事業において次のステージへのステップアップにつながる新たな取組を展開するなど、圏域の更なる活性化を目指し、事業の強化・拡充に取り組んだ。

① 圏域全体の経済成長のけん引

地場産品の販路拡大（地場産品販路拡大推進事業）

● 県外見本市等への出展機会の創出

○ 第32回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2022

開催概要 : 9/7～9@東京ビッグサイト
 出展事業者 : 9市町村22事業者
 ⇒【出展6か月後調査】 商談成立件数 : 122件
 総規約金額 : 51,110千円



新製品コンテスト・ピバレッジ部門で大賞を受賞した㈱G&Fの「土佐クラフトソーダ さくら咲く！ Premium桜スパークリング」

○ ビジネスフェア中四国2023

開催概要 : 2/1～2@広島県立広島産業会館
 申込事業者 : 4市町9事業者
 ⇒【出展3か月後調査】 商談成立件数 : 13件
 総規約金額 : 5,895千円



○ はじめまして こうちフェア

大阪・関西万博を見据えた地場産品PR・販売イベント
 開催概要 : 10/27～11/13@東急ハンズ江坂店（大阪府吹田市）
 参加事業者 : 8市町26事業者
 売上総額 : 3,731千円

● バイヤー招聘型商談会の開催

○ こうちプレミアム現地商談会

開催概要 : 11/29～30@サンピアセリーズ
 参加バイヤー : 5社
 参加事業者 : 8市町26事業者
 ⇒【出展3か月後調査】 商談成立件数 : 4件
 総規約金額 : 68千円

● コロナ禍での事業者支援

「TSUNAGU～高知家の底チカラ～」

○ TSUNAGUマーケット in 日曜市

開催概要 : R4.5月～R5.3月まで隔週で開催（全21回）
 参加市町村 : 8市町村23事業者
 売上総額 : 2,422千円

○ テイクアウトフェスタ @高知市中央公園

農産物生産者・加工品製造事業者によるテイクアウト商品を中心とした販売イベント

第4回テイクアウトフェスタ 夏の陣

開催概要 : 7/16～17
 参加事業者 : 13市町村53事業者
 来場者数 : 13,219人
 売上総額 : 9,691千円

第5回テイクアウトフェスタ 冬の陣

開催概要 : 1/14～15
 参加事業者 : 9市町36事業者
 来場者数 : 10,271人
 売上総額 : 7,225千円

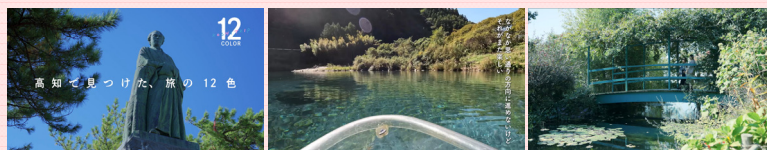


広域観光の推進（広域観光推進事業）

● 「高知で見つけた、旅の12色」プロモーション動画制作

令和元・2年度に造成した圏域を巡る12本の旅行商品をベースに、コースに含まれていない魅力的な観光スポットも加え、「高知で見つけた、旅の12色」をテーマとした各地域のプロモーション動画を制作

制作本数 : 12本（本編・ダイジェスト版×12コース）



地域	動画タイトル
安芸・室戸	土佐東部歴史旅
	食と草花をめぐる旅
嶺北	山間フォトジェニック旅
	高知の山・川・海 体感旅
仁淀川	土佐の地酒めぐり旅
	仁淀ブルー満喫旅
物部川	オトナ女子旅
	わくわく家族旅
奥四万十	奥四万十大人旅
	満点の星空体験旅
幡多	ゆったり太平洋満喫旅
	土佐西部体験旅

事業者の販売支援（圏域事業者販売等支援事業）

● とさのさと アグリコレットでの販売支援

アグリコレット内れんけいブースを活用した地場産品の展示・販売及び事業者のマーケティング支援を実施

れんけいブースでの販売支援 マーケティング支援

月	売上金額	売上点数	サポート内容	支援件数
4月	5,683千円	10,001	表示・パッケージ	16
5月	7,928千円	14,139	店頭販売	41
6月	5,706千円	10,155	試食販売	15
7月	5,985千円	10,559	販売方法	6
8月	8,645千円	15,630	量目・価格変更	62
9月	7,569千円	13,383	限定販売	3
10月	7,036千円	12,433	新商品	9
11月	6,738千円	11,695	計	152
12月	9,030千円	14,691		
1月	6,113千円	10,669		
2月	6,201千円	10,884		
3月	7,773千円	13,518		
計	84,407千円	147,757		

● 高知大丸での販売・出店支援

高知大丸東館5階ローカティブフロア「OMACHI 360」のリニューアルオープン（9/23）に伴い、新たにセレクトショップ「Loka」内にれんけいブースを設置し地場産品の販売支援を開始。また、同フロア内のチャレンジショップ「360SHOP」・チャレンジキッチン「360KITCHEN」において、新規出店事業者の育成支援を実施

れんけいブースでの販売等支援

【セレクトショップ「Loka」内れんけいブース】

採用事業者数 : 11市町村29事業者
 売上総額 : 1,483千円
 売上点数 : 2,214点

【360SHOP・360KITCHEN】

参加事業者 : 延べ27事業者
 売上総額 : 6,877千円

● TSUNAGUマーケット in とさのさと アグリコレット

とさのさと アグリコレットのイベントスペースを活用した物販イベントを開催

開催概要 : 10/22～23
 参加事業者 : 9市町23事業者
 2 売上総額 : 1,919千円



令和4年度連携事業の取組について

① 圏域全体の経済成長のけん引【続き】

伝統産業振興（伝統産業推進事業）

●「Creema」を通じた新規顧客獲得支援

- **日本最大級のハンドメイドECサイト「Creema」への出品支援**
圏域の伝統的製品の販売事業者を対象としたEC販売導入セミナーや個別アドバイスを実施するなど、ECサイト「Creema」への出品を支援
参加事業者：7市町村16事業者
累計売上：1,128千円（278点）
累計ファン獲得数(作家フォロー数)：409人
- **特集記事「高知ものづくり紀行」の掲載**
「Creema」に特設ランディングページ「高知ものづくり紀行」を開設。三原村の土佐硯(vol.1)をはじめ、伝統的製品の魅力や職人の技術・想いなどを紹介する特集記事を掲載
- **大型クラフトイベント「HandMade In Japan Fes 冬 2023」への出席**
(株)Creemaが主催する「HandMade In Japan Fes 冬 2023」でのテストマーケティングを支援
開催概要：1/21～22@東京ビッグサイト 売上総額：589千円（141点）



二段階移住の推進（二段階移住推進事業）

●二段階移住制度のPR等

- **Instagramを活用した情報発信**
市町村と県の日替わり投稿に加え、テーマ・デザインを統一した市町村のQ&A連載企画を実施
投稿市町村数：20市町村
- **高知移住のリアルを伝える移住者インタビューによるPR**
＜読売新聞高知版へのインタビュー記事連載＞
連載数：5回（12/22～12/27）
＜テレビ高知「あさコレ！移住者トーク」での放送＞
放送回数：4回
- **新PR動画「正直すぎる移住相談員」の制作**
オンライン移住相談をテーマにした新たなPR動画を制作・公開
視聴回数：43,572回
- **「こうちプチ移住旅」レポ漫画の公開**
SNSを中心に人気の漫画家・ミツコ氏が、3泊4日のこうちプチ移住旅の体験から高知の魅力を描いたWEB漫画を制作。ミツコ氏のSNSアカウントのほか、二段階移住公式HP及びSNSで公開
- **県内移住体験ツアー「中土佐暮らし」**
二段階目の移住先を検討中の方等を対象に、地元農家と交流する移住体験ツアーを開催
(3/5@中土佐町)



●二段階移住をテーマとしたイベントの開催

- **「ターンズカフェ」**
移住専門雑誌「TURNS」とタッグを組み、移住者と参加者が交流する「ターンズカフェ」を開催
(11/22@東京都有楽町) 参加者数：16人
- **幡多オンライン移住体験ツアー「ハタカラ」**
二段階移住制度や幡多地域6市町村のPR、個別移住相談等を行う「ハタカラ」を開催（11/5）
参加者数：20人



EBPMの推進（統計データ活用事業）

●各種研修の開催等

政府統計ポータルサイト「e-Stat」や産業連関表などの統計ツール活用方法を習得する研修のほか、社会経済動向等に関する理解を深めることを目的に、「SDGs未来都市」である土佐町の職員を講師とし、職員向けのSDGs研修を開催
また、日高村の「村まるごとデジタル化事業」をはじめ、デジタル技術を活用した全国の自治体の先進的地域活性化策を競う「第1回Digi田甲子園」など、DX推進に資する情報を圏域で共有

② 高次の都市機能の集積・強化

高次の理科学習・体験機会の提供（高知みらい科学館機能の強化）

●科学館理科学習の実施

高知みらい科学館において、圏域内の公立学校等に通う小4・中1を対象とし、観察や実験、プラネタリウムを活用した理科学習を実施
参加実績：84校5,358人

●出前教室の実施

市町村の希望に応じ、出前でミニプラネタリウムやサイエンスショー等を実施
参加実績：40校800人

●科学体験展示

圏域の公立図書館等においてモバイルミュージアムを実施し、住民に科学体験機会を提供
展示物：22種類@23施設



③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

おんぱく手法を活用した体験型イベントの実施（体験型地域資源開発・活用事業）

●体験型地域資源開発・活用事業の実施

○体験型イベントの実施

津野町	つものつねね#3（8/1～9/30）
仁淀ブルー※	仁淀ブルー体験博2022（9/23～11/26）
香美市	かみめぐり 香美を廻る体験博（10/8～12/18）
佐川町	わんさかわつよい体験博2022（1/14～2/28）
室戸市	まるっとむろと体験博☆1（2/18～3/19）

全体参加者数：1,286人

※仁淀川地域6市町村（土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村）による合同実施

○高知市広報紙でのPR

高知市広報紙「あかるいまち」への掲載により交流人口拡大を図る
実施地域外からの参加割合：73.9%



新規就農促進（新規就農者の確保）

●合同就農相談会の開催

開催概要：8/20
@とさのさとアグリコレット
参加市町村：18市町村
(うちオンラインのみ3市町)
来場者数：156人
相談者数：12人

地域防災力の強化（防災リーダー育成事業）

●防災人づくり塾の開催

風水害や地震等をテーマに防災の基礎的内容を講義する防災人づくり塾を開催（全8回）
開催期間：6/27～8/23
会場：〔本会場〕高知市
〔サテライト〕安芸市、香南市、黒潮町
修了者数：167人



令和4年度連携事業の取組について

令和4年度 事業KPIの達成状況（1/2）

分野	事業名称	指標	目標値	実績値		参考事項
			R4	R4	達成率	
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	No.01 れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進事業	懇談会の開催回数	3回/年	2	66.7%	
		推進会議の開催回数	1回/年	1	100.0%	
		ウェブサイトの閲覧件数	4,800ビュー/年	3,467	72.2%	
	No.02 統計データ活用事業	研修会への参加者数	累計514人	570	110.9%	
		応用学習会への参加市町村数	22市町村/年	11	50.0%	
	No.03 日曜市出店事業	「れんけい小間」延べ開設数	300回/年	174	58.0%	
		「れんけい小間」への来客数	24,000人/年	9,176	38.2%	
	No.04 地場産品販路拡大推進事業	見本市等における商談成立件数	75件/年	126	168.0%	
		見本市等における参加事業者数	30事業者/年	48	160.0%	
	No.05 圏域事業者販売等支援事業	「れんけいブース」における年間販売額	3,200万円/年	8,440	263.8%	
		「れんけいブース」における事業者支援件数	36件/年	152	422.2%	
	No.06 伝統産業推進事業	パンフレット配布部数	5,200部/年	1,130	21.7%	
		ウェブサイト閲覧数	101,000ビュー/年	111,599	110.5%	
No.07 6次産業化推進事業	マッチングセミナーへの参加事業者数	50事業者/年	35	70.0%		
No.08 大型船舶寄港誘致・誘客促進事業	高知新港への大型客船寄港回数	100回/年	15	15.0%		
	無料バス運行地域数	6地域/年	0	0.0%		
	無料バス乗客数	180人/年	0	0.0%		
No.09 広域観光推進事業	新規周遊観光商品数	3本/年	-	-	計画期間中の累計造成数（12本）はR2に達成済	
	旅行会社発行の紙・WEB媒体への造成商品掲載数	30商品/年	27	90.0%		
No.10 インバウンド観光推進事業	観光案内所の外国人利用者数	3,370人/年	1,413	41.9%	日本人含む利用者数は9,736人	
No.11 人工知能（AI）を活用した外国人観光客への対応	外国人観光客のシステム利用者数	3,662人/年	171	4.7%	日本人含む利用者数は7,094人	
No.12 空き店舗等情報発信事業	ホームページの閲覧数	42,000ビュー/年	56,847	135.4%		
No.13 二段階移住推進事業	二段階移住新規相談件数	累計490件	506	103.3%		
	二段階移住パスポート発行部数	累計185部	189	102.2%		
	二段階移住組数	累計60組	27	45.0%		

令和4年度連携事業の取組について

令和4年度 事業KPIの達成状況（2/2）

分野	事業名称	指標	目標値	実績値		参考事項
			R4	R4	達成率	
(2) 高次の都市機能の 集積・強化	No.14 新高知赤十字病院への支援	高知赤十字病院から圏域内への助産師派遣回数	36回/年	11	30.6%	
	No.15 高知みらい科学館機能の強化	理科学習の実施校数	100校/年	84	84.0%	
		理科学習の受講児童生徒数	5,700人/年	5,358	94.0%	
		出前教室の実施校数	40校/年	8	20.0%	
		出前教室の受講児童生徒数	800人/年	655	81.9%	
	科学体験展示実施延べ市町村数	16市町村/年	23	143.8%		
(3) 圏域全体の生活関連 機能サービスの向上	No.16 子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）	ファミサポ設置に向けた検討等について高知市が関わった（相談等含む）市町村数	累計12市町村	9	75.0%	
		講習会への広域受講市町村数	累計12市町村	7	58.3%	
		広域利用に向けた検討等について高知市が関わった（相談等含む）市町村数	累計12市町村	1	8.3%	
		情報交換・情報共有した市町村数	累計33市町村	33	100.0%	
	No.17 新規就農者の確保	相談会での個別相談件数	累計150件	54	36.0%	
	No.18 体験型地域資源開発・活用事業	実施プログラム数	累計300件	242	80.7%	
		イベント実施エリア外からの参加割合	70%/年	73.9	105.6%	
	No.19 防災リーダー育成事業	防災人づくり塾修了者数	累計1,050人	814	77.5%	
	No.20 水道事業広域実施（人材育成等）	高知市職員研修への参加者数	累計151人	161	106.6%	
No.21 職員交流による連携強化と能力向上	高知市への派遣職員数	6人/年	1	16.7%		
	高知市職員研修への参加者数	50人/年	49	98.0%		
	防災士資格取得者数	16人/年	21	131.3%		

令和4年度連携事業の取組状況（詳細）

令和5年3月31日現在

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和4年度取組内容	令和4年度取組詳細
ア 圏域 全体 の 経済 成長 の けん 引	22-01	れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進事業	ビジョンの進捗管理や広域的な課題の共有、解決に向けた協議を行うとともに、取組成果の検証やビジョンの見直し作業を適宜実施するため、各種会議を開催・運営する。また、連携事業の実施運営の効率化を図るため、ウェブサイトを活用して圏域市町村の事業担当者間の情報共有効率化やアドレス帳などの管理運営を行う。	各種会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ■れんけいこうち広域都市圏推進会議（7/15） ■第1回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会（7/27） ■第2回れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会（2/8） ■4月担当者会議（4/18～22、26） <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度取組実績、当年度取組予定、第2期における事業の方向性等の共有 等 ■10月担当者会議（10/14、17～21） <ul style="list-style-type: none"> ・当年度取組状況、来年度取組予定の共有、事業化予定の新規事業説明 等 ■第1回れんけいこうち広域都市圏事業調整チーム会議（4/11）※書面開催 <ul style="list-style-type: none"> ・提案事業の検討結果、既存事業の評価・検証結果の共有 等 ■第2回れんけいこうち広域都市圏事業調整チーム会議（8/25） <ul style="list-style-type: none"> ・推進会議、ビジョン推進懇談会における意見の共有及び対応の検討、新規事業に関する協議、パブコメに関する情報共有 等 ■第3回れんけいこうち広域都市圏事業調整チーム会議（1/11） <ul style="list-style-type: none"> ・パブコメの実施結果報告、事業調整チーム会議業務の見直し 等
				ウェブサイトの運営	<ul style="list-style-type: none"> ■圏域の取組等に関する情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・圏域市町村イベント等の掲載：63件（令和4年度累計新規掲載数） ・サイト閲覧数：3,467ビュー
	22-02	統計データ活用事業	圏域市町村職員を対象とする研修会等を通じて、統計データ活用の重要性に関する理解を深めることで人材育成を図る。	基礎研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ■e-Stat研修（11/9） <ul style="list-style-type: none"> ・政府（各府省等）が公表する統計データを一つにまとめたポータルサイト「e-Stat」の活用方法等の習得を目指す研修を開催（@高知市会場&オンライン） ・参加者数：14市町28人 ■アンケート設計・分析研修（2/21、3/2） <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの設計及び分析に必要な知識を、統計学的知見を踏まえて習得するオンライン研修を開催 参加者数：18市町64人
				応用学習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ■産業連関表研修（10/19、20、25） <ul style="list-style-type: none"> ・産業連関表の基礎知識及び経済波及効果を計算するための分析ツールの使用方法等を習得する研修を開催（@オーテピア高知図書館） ・参加者数：11市町20人（うちアーカイブ受講7市町9人）
				研修のアーカイブ化	<ul style="list-style-type: none"> ■産業連関表研修のアーカイブ化（12/9） <ul style="list-style-type: none"> ・産業連関表研修のアーカイブ（動画）受講を希望する職員に対する学習機会の提供 ・受講者数：7市町9人（上記研修参加者：11市町20人の内数）
				SDGsプレ研修	<ul style="list-style-type: none"> ■SDGs研修（11/21@高知県自治会館） <ul style="list-style-type: none"> ・第2期から社会経済情勢の最新動向等に関するテーマを取り入れるなど、研修テーマの拡充を図るにあたり、SDGsをテーマに、プレ研修として土佐町職員を講師としたカードゲームを活用した研修を開催 ・参加者数：8市町27人
	22-03	日曜市出店事業	日曜市に連携市町村の出店スペース（れんけい小間）を設け、各市町村が輪番制で観光PRなどの情報発信や農産物・加工品等特産品の販売等を行う。また、出店市町村と連携し、れんけい小間をPRするイベント等を行うことで、圏域事業者の販路拡大、日曜市のにぎわい創出を図る。	れんけい小間の開設	<ul style="list-style-type: none"> ■連携市町村による出店 <ul style="list-style-type: none"> ・出店市町村数：20市町村 延べ開設数：174回 ・来客数：9,176人
				れんけい小間の周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ■日曜市れんけい小間スタンプラリー（3/5、12、19） <ul style="list-style-type: none"> ・れんけい小間を巡るスタンプラリーを実施し、れんけい小間をPR ・参加者（出店小間巡回が条件）には抽選で圏域特産品や日曜市の商品を贈呈

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和4年度取組内容	令和4年度取組詳細
ア (続き)	22-05	圏域事業者販売等支援事業	(続き)	販路拡大支援・マーケティング支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■販路拡大支援 <ul style="list-style-type: none"> ・れんげいブース又はイベントスペース等での販売促進・地域情報発信 ■マーケティング支援 <ul style="list-style-type: none"> ・とさのさとアグリコレットによる商品デザインや表示、コロナ対策に関するアドバイスを実施 ・支援件数：152件（表示・パッケージ16、店頭販売41、試食販売15、販売方法6、量目・価格変更62、限定販売3、新商品9）
	22-06	伝統産業推進事業	伝統産業の強みを生かしたブランド力・知名度の向上、販路拡大に向けた支援を行うことにより伝統産業の振興を図る。	伝統的製品のPR	<ul style="list-style-type: none"> ■パンフレット配布 <ul style="list-style-type: none"> ・15産品59事業者・6卸業者等（18市町村）の産品の特徴・作業工程等を掲載 ・主要観光施設（34市町村）、高知龍馬空港、高知駅、TSUNAGUマーケットin日曜市などのイベント会場等で配布 ■ウェブサイト運営 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的産品情報、後継者募集情報、イベント情報を掲載 ・サイト閲覧数：111,599ビュー
				ECサイトを活用した新規顧客獲得支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ECサイトを活用した伝統的産品の新規顧客獲得支援 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的産品等の事業者を対象に、EC販売導入セミナーの開催や、出品の際の説明文や写真等に関する個別アドバイスを行うなどCreemaへの出品支援を実施 ・参加事業者：7市町村16事業者（高知市7、南国市、香美市2、土佐市、いの町3、宿毛市、三原村） ・売上商品数：278点 ・累計売上額：1,128千円 ・累計ファン獲得数（作家フォロー数）：409人 ■特集記事「高知ものづくり紀行」の掲載（12/2～） <ul style="list-style-type: none"> ・特設ランディングページ「高知ものづくり紀行」を開設し、圏域の伝統的産品の魅力や職人の技術等を紹介する特集記事を掲載 ■テストマーケティング（1/21～22@東京ビッグサイト） <ul style="list-style-type: none"> ・大型クラフトイベント「HandMade In Japan Fes 冬」に出展し、テストマーケティングを実施 ・売上商品数：141点 ・売上総額：589千円
	22-07	6次産業化推進事業	一次・二次・三次産業事業者の交流・マッチングの機会を創出・拡充することで、事業者間のコラボレーションによる新商品開発や販路開拓の促進を図る。	事業者の交流・マッチング機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ■農商工連携マッチングセミナー（12/1@高知市中央卸売市場） <ul style="list-style-type: none"> ・参加事業者：11市町村35事業者
	22-08	大型船舶寄港誘致・誘客促進事業	高知新港への大型客船等の誘致を進めるとともに、連携市町村の新たな観光資源の掘り起こしや磨き上げにより受入態勢を整備し、高知新港に大型客船等が寄港する際に、連携市町村への無料バス運行や圏域市町村のPRイベント実施により、乗船客等の圏域での周遊促進や、連携市町村の知名度向上及びりピーターの増加、地場産品の販路拡大等による地域経済の活性化及び観光振興、高知新港の寄港地としての魅力向上を図る。	市町村PRイベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ■高知新港での市町村PRイベント <ul style="list-style-type: none"> ・客船寄港の機会を有効に活用し、圏域市町村の知名度向上や高知新港の魅力向上につながるようなPRイベントの実施を検討 ※新型コロナウイルスの影響により外国客船寄港自体がなく、シャトルバス運行による圏域周遊促進の実施はなし
	22-09	広域観光推進事業	携帯電話の位置情報ビッグデータを活用した観光客動態調査を基に、ターゲット等に応じた効果的な商品開発やプロモーションを行う。	造成商品のPR	<ul style="list-style-type: none"> ■旅行会社発行の紙・WEB媒体への造成商品の掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度までに造成した計12本の旅行商品を、旅行会社発行の紙・WEB媒体に掲載しPR ・掲載数：27本（内訳：もっとうち（WEB・紙）23本、JTB1本、KVCA素材集3本） ■プロモーション動画制作 <ul style="list-style-type: none"> ・12本の旅行商品をベースとして、新たに地域の魅力的なスポット等を加えた広域観光ルートのプロモーション動画を制作 ・制作本数：12本
	22-10	インバウンド観光推進事業	外国語対応可能な高知市中心商店街内の観光案内所を拠点に、専任スタッフによる観光案内及び連携市町村と連携した観光PR等を行い、外国人観光客の圏域内周遊促進を図る。	観光案内所の運営	<ul style="list-style-type: none"> ■案内所「こうち観光ナビ・ツーリストセンター」運営 <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数：9,736人（うち外国人1,413人） ■その他の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・地域観光情報取材・動画制作、HP・SNSの運営、大学が実施する中心商店街PRにおける翻訳支援、車椅子貸出（12件）、龍馬バスポート発行（1,488件）等
	22-11	人工知能（AI）を活用した外国人観光客への対応	人工知能（AI）を活用した外国人向け観光案内システムの活用により、圏域の観光資源や交通情報、飲食店等の情報を多言語で発信し、外国人観光客の満足度及び回遊性向上を図る。	tosatripの運用	<ul style="list-style-type: none"> ■tosatrip運用 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数：7,094人（うち外国人171人）
22-12	空き店舗等情報発信事業	空き店舗情報及び創業支援情報等を集約し、一元的に情報発信することで、圏域内の空き店舗の解消及び地域の活性化を図る。	ウェブサイトの運営	<ul style="list-style-type: none"> ■ウェブサイト「こうち創業Village」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・掲載情報収集（随時） ・主な掲載内容： <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗情報54件、支援制度31件（県・17市町村）、チャレンジショップ11件（11市町）、セミナー情報等 毎月3件程度 ・サイト閲覧数：56,847ビュー ■「創業者の声」ページの掲載（9/30、2/28） <ul style="list-style-type: none"> ・高知市、四万十市での創業者にインタビューし、創業時の苦労や今後の展望など生の声を配信 	

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和4年度取組内容	令和4年度取組詳細
ア (続き)	22-13	二段階移住推進事業	大都市圏などの潜在的な移住希望者を対象に、高知市を拠点とした二段階移住をPRするとともに、一段階目となる高知市へのお試し移住補助や連携市町村を巡るレンタカー補助等を行う。 また、圏域市町村が連携した市町村情報の発信や移住に係るイベントの開催、二段階目の移住支援等を行うことで、圏域全体への移住・定住の促進を図る。	二段階移住制度のPR	<ul style="list-style-type: none"> ■既存の情報発信ツール（特設サイト・ハンドブック等）を活用したPR ■Instagramを活用したPR <ul style="list-style-type: none"> ・28市町村と県が日替わりで連携投稿し、各地域の魅力や移住に関連するイベント等の情報を発信 投稿数：819件、フォロワー数：1,192人 ・インスタグラムQ&A連載企画として、情報発信するテーマやデザインを統一した連携投稿を実施 投稿市町村数：20市町村 ■PR動画の制作 <ul style="list-style-type: none"> ・「オンライン移住相談」をテーマにした新PR動画「正直すぎる移住相談員」を制作し、PRを実施 ・視聴回数：43,572回 ■「こうちプチ移住旅」レボ漫画の制作 <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを中心に人気の漫画家・ミツコ氏が、3泊4日の「こうちプチ移住旅」の中で食や自然、移住者、在住者等との触れ合いを通じて体験したエピソードや想いをWEB漫画化。ミツコ氏のSNSアカウントのほか、二段階移住の特設サイト及びSNSアカウントで公開 ・ミツコ氏のTwitter・Instagram総フォロワー数：約30万人
				二段階目の移住促進	<ul style="list-style-type: none"> ■移住者インタビューの情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・読書新聞高知版で高知移住者のリアルを伝える移住者インタビュー記事を連載（5回） ・テレビ高知の「あさコレ！移住者トーク」で高知移住者のインタビュー番組を放送（4回） ■県内移住体験ツアーの開催（3/5） <ul style="list-style-type: none"> ・二段階目の移住先を検討中の方等を対象とした移住体験ツアーを開催（中土佐町）
				二段階移住をテーマとしたイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ■二段階移住イベント「ハタカラ」の開催（11/5） <ul style="list-style-type: none"> ・幡多地域6市町村による、二段階移住制度及び各市町村PRを目的としたオンラインイベントを開催 ・参加者数：〔市町村PRパート〕20人、〔相談パート〕4人 ■交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・移住専門雑誌「TURNS」とタッグを組み、東京都有楽町で高知移住者とイベント参加者が交流する「ターンズカフェ」を開催 ・参加者数：16人
				お試し滞在施設の運営	<ul style="list-style-type: none"> ■高知県職員住宅を活用したこうちらいふ体験滞在拠点「いっく」の運営（4室） ・利用実績：9組（R3年度からの継続利用2組を除く）
				制度利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ■二段階移住制度利用実績 <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談件数（高知市窓口）：131件 ・補助金交付決定件数：25件（うち取消1件） ・パスポート発行部数：34部（交付決定者及び「いっく」利用者に「すてっぶ移住パスポート」を交付（3市町村以上を訪問し、移住相談を行っていただく）） ・二段階移住組数：5組（移住先：南国市、大豊町、いの町、仁淀川町、黒潮町）
イ 高次の都市機能の集積強化	22-14	新高知赤十字病院への支援	高知赤十字病院の津波長期浸水エリア外への移転を支援し、救急医療等の拠点機能を確保するとともに、南海トラフ地震発生時の圏域内の災害拠点病院としての機能を確保し、圏域全体が平時・災害時を問わず必要な医療サービスを受受できる環境の整備を図る。	高知赤十字病院を核とした連携	<ul style="list-style-type: none"> ■連携市町村への助産師派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣回数：11回
				補助金の交付	<ul style="list-style-type: none"> ■補助金の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・交付決定（令和元～令和10年度）
	22-15	高知みらい科学館機能の強化	次代を担う創造性豊かな人材を育成するため、圏域の中心拠点の一つである「高知みらい科学館」の機能を強化し、圏域の小中学校等を対象とした理科学習や出前教室、圏域住民を対象とした科学体験の機会の提供により、圏域の児童・生徒等の科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学的な見方や考え方を養う。	科学館理科学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■高知みらい科学館における理科学習 <ul style="list-style-type: none"> ・小4及び中1を対象に、観察や実験、プラネタリウムを活用した理科学習を実施 ・利用実績：84校5,358人（高知市62校4,545人、連携市町村22校813人）
出前教室の実施				<ul style="list-style-type: none"> ■市町村における出前教室の実施（遠方市町村） <ul style="list-style-type: none"> ・市町村の希望に応じ、出前によるミニプラネタリウムやサイエンスショー等を実施 ・利用実績：40校800人 	
			科学体験展示の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村立図書館等における科学体験展示の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・科学館の展示物を市町村立図書館等に展示し、住民に科学体験機会を提供 ・展示物：22種類@23施設 	

区分	No.	連携事業名	事業概要	令和4年度取組内容	令和4年度取組詳細
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	22-16	子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携）	連携市町村のファミリー・サポート・センター設置に向けた支援、市町村域を越えたサービスの提供及び援助会員養成講習会の開催等により、圏域全体の子育て支援サービスの質の向上を図る。	講習会の広域受講	■講習会（広域受講）の実施（6/9～11、9/28～30、1/27～29@高知市） ・参加市町村数：4市町（南国市、いの町、須崎市、大月町）
	22-17	新規就農者の確保	高知市と連携市町村合同での就農相談会を開催する。	就農相談会の開催	■就農相談会の開催（8/20@とさのさとアグリコレット） ・参加市町村数：18市町村（うち3市町はオンラインのみ参加） ・資料展示：21市町村・県 ・来場者数：156人 ・相談者数：12人
	22-18	体験型地域資源開発・活用事業	地域の資源（自然・文化・食や、事業者・住民の技術等）をコンテンツ化する方法を地域住民が習得・実践する機会（セミナーやワークショップ等）の提供及び体験型プログラム等の実施により、地域振興及び交流人口拡大を目指す。	体験型地域資源のコンテンツ化	■体験型地域資源のコンテンツ化支援 ・津野町：4/21 講師招聘型講演会・WS（ワークショップ）、5/13～ PG（プログラム）作成・撮影サポート等 ・仁淀ブルー※：4/19～ 第1回WS（実施内容の検討等）、6/9 第2回WS（写真・文章講座）、8/3 第3回WS（広報PR講座）、8/16 第4回WS（予約対応等・直前講習） ・香美市：6/2～6/30 講師招聘型WS（文章講座・撮影サポート等）、9/2 決り集会 ・佐川町：9/8 講師招聘型説明会・WS ※WEB入力・撮影サポート等は個別対応 ・室戸市：PG作成サポート等は個別対応 ※仁淀川地域6市町村（土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村）による合同実施
				高知市広報紙への掲載	■高知市広報紙「あかるいまち」への掲載 ・圏域内外の交流人口拡大を図ることを目的に、高知市広報紙「あかるいまち」へ体験型イベント情報を掲載 （8月号）津野町、仁淀ブルー（9月号）香美市（1月号）佐川町（2月号）室戸市
				体験型イベントの実施	■体験型イベントの実施 「つのつねづね#3」（津野町） ・期間：8/1～9/30、プログラム数：20 ・参加者数：65人（うちイベント実施エリア外からの参加割合92.9%） 「仁淀ブルー体験博2022」（仁淀ブルー） ・期間：9/23～11/26、プログラム数：50 ・参加者数：533人（うちイベント実施エリア外からの参加割合70.6%） 「かみめぐり 香美を巡る体験博」（香美市） ・期間：10/8～12/18、プログラム数：22 ・参加者数：289人（うちイベント実施エリア外からの参加割合66.8%） 「わんさかわっしょい体験博2022」（佐川町） ・期間：1/14～2/28、プログラム数：19 ・参加者数：237人（うちイベント実施エリア外からの参加割合81.0%） 「まるっとむろと体験博☆1」（室戸市） ・期間：2/18～3/19、プログラム数：15 ・参加者数：162人（うちイベント実施エリア外からの参加割合83.6%）
	22-19	防災リーダー育成事業	高知市が開催する防災の各専門分野の講師による講座において、連携市町村にサテライト会場を設置し双方向による受講を可能とすることで、地域で防災活動に取り組む防災リーダー「災害に強い人」を育成し、圏域全体の防災力向上を図るとともに、高知市会場の講座修了者を対象に防災士資格取得を支援する。	防災人づくり塾の開催	■防災人づくり塾の開催（6/27～8/23 全8回） ・高知市会場から県内3会場（安芸市、香南市、黒潮町）に映像と音声リアルタイムで配信 ・申込者数：201人（高知市168人、サテライト33人） ・修了者数：167人（高知市144人、サテライト23人） ■YouTubeでの動画配信 ・職員の学習用として、希望する職員に対して講義動画をYouTubeで配信
	22-20	水道事業広域実施（人材育成等）	水道事業の知識や技術の継承及び災害時対応について、高知市が行う水道事業実務研修の対象者を圏域全体に拡大することで効率的な人材育成に努める。 また、圏域市町村での情報の共有・統一化等により業務の効率化を図る。	職員研修の広域開催	■新任者研修（7/14） ・参加者数：14市町24人+県2人 ■漏水調査（11/10） ・要望市町村職員のみを対象に試験的に実施 ・参加者数：2市町6人 ■技術研修（11/8） ・参加者数：6市町12人+県1人
	22-21	職員交流による連携強化と能力向上	連携市町村から高知市への派遣職員の受入及び交流派遣を行い、多様な行政案件を処理することで派遣職員の能力向上を図るとともに、高知市職員研修への参加機会の提供等により圏域市町村職員の能力向上を図る。 また、共通した行政課題について、圏域市町村間で情報交換を行うほか、相互連携が可能な事業については共同して事業を実施する。	職員研修の広域開催	■地方創生・SDGs研修（7/29） ・参加者数：8市町村17人（全員オンライン受講） ■手話研修（9/15 入門研修、6/2～8/4 実技研修①（全10回）、10/6～12/22 実技研修②（全10回）） ・参加者数：〔入門〕4市町5人、〔実技①〕1市1人、〔実技②〕3市町3人 ■防災士養成研修（11/17～18） ・参加者数：7市町23人（全員が防災士資格取得試験を受験し、うち21人が資格取得）
				研修派遣職員の受入れ	■研修派遣職員の受入れ ・土佐市の消防職1人の研修派遣を受入れ（4/1～3/31（1年間））
				共通する行政課題について情報交換	■共通した行政課題について市町村担当者会議等を活用し、適宜情報交換（随時）

圏域経済の活性化 主な成果：製造品出荷額 5,678億円（平成28年）→ 5,471億円（令和2年）
県外観光客入込数 424万人（平成28年）→ 371万人（令和4年）

04 地場産品販路拡大推進事業

平成30年度～

首都圏をはじめとする県外見本市等への共同出展支援や、販路拡大を目的とした県外バイヤーを招聘しての商談会等を実施。

- ・グルメ&ダイニングスタイルショー（東京都）への出展機会創出（計5回）
累計商談成立件数：675件
累計成約金額：162,388千円
- ・アンテナショップ「まるごとつぼん」（東京都）への出店（R元～2）
累計売上：16,764千円 ※R2年11月閉館
- ・ビジネスフェア中四国（広島県）への出展（計4回）
累計商談成立件数：61件
累計成約金額：8,953千円
- ・バイヤー招聘型商談会の開催（計5回）
累計商談成立件数：33件
累計成約金額：5,003千円
- ・はじめまして こうちフェア（大阪府）（R4）
売上点数：6,761点
売上総額：3,731千円
- ・「TSUNAGU ～高知家の底チカラ～」 TSUNAGUマーケット・テイクアウトフェスタ（R2～4）
累計売上：45,264千円



▲「グルメ&ダイニングスタイルショー」れんけいこうちブース



▲「まるごとつぼん」展示ブース ▲「はじめまして こうちフェア」会場

05 圏域事業者販売等支援事業

令和元年度～

県外観光客を中心に集客力の高い複合施設「とさのさと アグリコレット」内でのれんけいブースにおける地場産品の展示・販売や、事業者への商品力向上支援を実施。また、令和4年9月、高知大丸東館ローカリティブフロア内に新たな地場産品の販売拠点を設置。

- ・とさのさと アグリコレット内の「れんけいブース」での販売
累計売上：220,604千円（R元年9月～）
累計事業者支援件数：386件
- ・高知大丸セレクトショップ内の「れんけいブース」での販売
売上点数：2,214件（R4年9月～）
売上総額：1,483千円
- ・TSUNAGU～高知家の底チカラ～の取組
<TSUNAGUマーケット in アグリコレット>
累計売上：3,210千円
- ・新規出店事業者の育成支援
<チャレンジショップ、チャレンジキッチン>
売上総額：6,877千円
延べ出店者数：27事業者



とさのさと アグリコレットのセレクトショップに並ぶ圏域の地場産品



高知大丸セレクトショップ「Loka」内に並ぶ圏域の地場産品

06 伝統産業推進事業

平成30年度～

圏域内の伝統的産品を紹介するパンフレットの制作及び配布、また、特設サイトの開設・運営等により、伝統的産品のPRを実施。また、通販冊子とのタイアップ企画やECサイト「Creema」への出品等による販売促進を実施。

- ・パンフレット「土佐の手づくり工芸品」
累計配布部数：12,369部
- ・通販冊子「メイド・イン高知の逸品35」の発行・販売（R2）
（株）小学館のライフスタイル情報誌「サライ」とのタイアップ企画）
受注点数：225点
受注総額：7,233千円
- ・ECサイト「Creema」への商品出品（R4）
売上点数：278点
累計売上：1,128千円



▼圏域の伝統的産品や職人の技術・想い等を紹介する記事「高知ものづくり紀行」
Creema 高知ものづくり紀行
通販冊子「メイド・イン高知の逸品35」

12 空き店舗等情報発信事業

平成30年度～

圏域内の空き店舗情報や各市町村の支援施策等を一元的に情報発信する特設サイト「こうち創業village」を開設・運営。また、「Voice」と題した先輩創業者へのインタビュー記事も掲載。

- ・「こうち創業Village」累計閲覧数：192,002ビュー



03 日曜日出店事業

平成30年度～

日曜日への連携市町村の出店スペース（れんけい小間）の定期的な設置や、8小間あるれんけい小間の周遊を促進するスタンプラリー等のイベントを実施。

- ・れんけい小間の累計出店小間数：930小間
- ・れんけい小間への累計来客数：52,901人
- ・れんけいこうちスタンプラリー累計実施回数：6回（スタンプラリーへの応募者数：978人）



▲れんけい小間の様子



07 6次産業化推進事業

平成30年度～

圏域内の一次・二次・三次産業事業者同士の交流やマッチング支援により6次産業化・農工商連携を促進。

- ・マッチングセミナーの開催（計4回）
累計参加者数：167事業者
【産業別】1次（農林漁業）：43事業者、2次（加工業等）：40事業者
3次（飲食業・サービス業）：66事業者、その他（行政等）：18事業者



17 新規就農者の確保

平成30年度～

集客力の高い「イオンモール高知」や「とさのさと アグリコレット」にブースを設置し、圏域市町村合同の就農相談会を開催。

- ・合同就農相談会の開催（計4回）
累計相談件数：54件



08 大型船舶寄港誘致・誘客促進事業

令和元年度～

大型客船の寄港時に、連携市町村のモデルコースを周遊する無料バスツアーを運行。

- ・大型客船の寄港回数：52回
- ・無料バス運行回数：2回（土佐市・香南市を周遊）
- ・無料バス利用者数：91人

コスト ナエロマンチカ号の乗客が【左】お遍路体験（土佐市）、【右】弁天座（香南市）観光をする様子



09 広域観光推進事業

平成30年度～

携帯電話の位置情報データを基に観光客の移動軌跡調査（計190地点対象）を実施。その分析結果に基づいた広域観光を促進する旅行商品を造成。また、旅行商品をベースに各地域の魅力を発信するプロモーション動画を制作。

- ・造成旅行商品数：12本（6地域各2本）
- ・旅行社発行の広報媒体への旅行商品情報掲載数：累計67本
- ⇒令和4年度には各旅行商品をベースに、「高知で見つけた、旅の12色」をテーマとしたプロモーション動画を制作



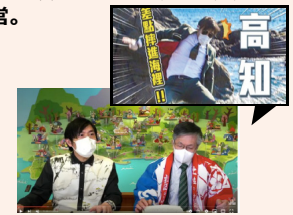
10 インバウンド観光推進事業

平成30年度～

11 人工知能(AI)を活用した外国人観光客への対応

外国語対応可能な観光案内所を高知市中心商店街に開設し、圏域の観光案内及び観光PR等を実施。また、圏域の観光資源や交通情報、飲食等の情報を多言語で発信するAIシステムを構築・運営。

- ・こうち観光ナビ・ツーリストセンター（観光案内所）
累計相談件数：29,655件（うち外国人5,748件）
- ・台湾・香港人観光客向けに特化した日本観光情報サイト「楽吃購（ラーチーゴ）！日本オンラインライブイベント」を開催（R4）
延べ視聴者数：332,677人
- ・AIシステム「tosatrip」の累計利用者数：14,138人（うち外国人686人）
（質問件数：112,689件）



▲オンラインライブイベントの一場面


第1期れんけいこうち広域都市圏ビジョンにおける取組実績

住民サービスの向上 主な成果：ファミリー・サポート・センター設置市町村数
3市町（平成28年度）→13市町（令和4年度）

16 子育て支援事業（ファミリー・サポート・センターの広域連携） 平成30年度～

ファミリー・サポート・センター設置に向けたノウハウ共有や、提供会員養成講習会を広域開催。


- ・設置に向けた高知市への相談・協議
累計相談件数：75件



15 高知みらい科学館機能強化事業 令和元年度～

次代を担う圏域の児童・生徒等の科学的な見方や考え方を養成する科学学習・体験機会を提供。

- ・高知みらい科学館での理科学習
累計受講生徒数：309校18,573人
- ・遠方市町村への出前教室
累計受講生徒数：35校1,580人
- ・図書館等での科学体験展示（モバイルミュージアム）の実施



【左】遠方図書館でのモバイルミュージアム
【右】出前教室でのプラネタリウム観賞や科学サイエンスショーの様子

14 高知赤十字病院支援事業 令和元年度～

高度な医療サービス提供の中心的な役割を担う高知赤十字病院に対し、高度医療・災害時医療提供体制や救急医療等の拠点機能整備に向けた支援を実施。


交流人口拡大・移住定住の促進 主な成果：県外からの移住組数
683組（平成28年度）→1,185組（令和4年度）

13 二段階移住推進事業 平成30年度～

二段階移住制度のPRや一段階目となる高知市へのお試し移住補助、圏域市町村が連携した市町村情報の発信等により圏域全体への移住・定住を促進。

- ・累計新規相談件数：506件
- ・二段階移住パスポート累計発行部数：189部
- ・二段階移住組数：27組

【二段階移住先】
北川村、芸西村、南国市7、香南市、香美市3、大豊町、土佐市、いの町3、仁淀川町3、日高村、四万十町、三原村、黒潮町3



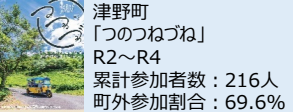
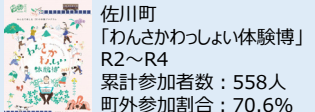

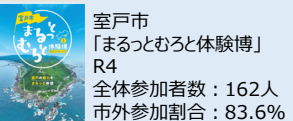
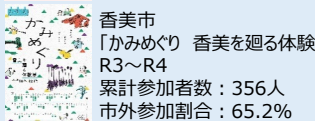
◀ 幅多地域のPR、移住相談等を行う幅多オンライン移住体験ツアー「ハタカラ」

▲ 二段階目の移住につなげるため、移住体験ツアーを実施

▲ 動画やWEB漫画など様々な媒体を通じて二段階移住制度をPR。令和元年度制作の「#田舎暮らしは甘くない」は、地方の優れたCMやPR動画に贈られる「くろ〜かるCM大賞」を受賞。

18 体験型地域資源開発・活用事業 令和2年度～

圏域住民が地域資源（自然・文化・食・技術等）のコンテンツ化手法を習得する機会（セミナー等）を提供するとともに、体験型プログラムを集約した体験型イベントを開催し、圏域内外の交流人口拡大を促進。また、体験型イベントの実施に至るまでのノウハウを圏域内で共有し、取組の横展開を促進。


 津野町 「ついつづね」 R2～R4 累計参加者数：216人 町外参加割合：69.6%	 佐川町 「わんざかわつよい体験博」 R2～R4 累計参加者数：558人 町外参加割合：70.6%	 仁淀川流域6市町村 「仁淀ブルー体験博」 R3～R4 累計参加者数：955人 域外参加割合：73.8%
 室戸市 「まるつとむろと体験博」 R4 全体参加者数：162人 市外参加割合：83.6%	 香美市 「かみめぐり 香美を回る体験博」 R3～R4 累計参加者数：356人 市外参加割合：65.2%	

人材育成・行政間の交流等による業務の効率化 主な成果：自主防災組織の組織率
93.3%（平成28年度）→97.4%（令和4年度）

19 防災リーダー育成事業 平成30年度～

地域で防災活動に取り組む防災リーダー「災害に強い人」を育成するための防災人づくり塾を広域開催。


- ・防災人づくり塾の広域開催
累計修了者数：814人（うち、サテライト会場での修了者数145人）
※累計11市町（安芸市、香南市、香美市、本山町、佐川町、越知町、須崎市、四万十町、宿毛市、四万十市、黒潮町）にサテライト会場を設置し広域開催



02 統計データ活用事業 平成30年度～

官学連携での統計データ活用等に関する職員向け研修の広域開催により、戦略的な政策立案（EBPM）を推進。また、県内外のデータ活用事例等の先進的取組に関する情報共有を随時実施。


- ・職員向け研修の開催
（e-Stat研修、RESAS研修、産業連関表研修、アンケート設計・分析研修、SDGs研修等）
累計参加者数：570人



21 職員交流事業 平成30年度～

手話研修や防災士養成研修の広域開催により、圏域市町村職員の専門能力向上を促進。また、定年延長制度導入をはじめとする人事・給与制度等に関する圏域共通の課題や取組状況等について情報交換を実施。

- ・高知市への累計交流派遣職員数：2人（土佐市・消防職・1年間）
- ・職員向け研修の開催
（手話研修、防災士養成研修、会計検査・補助金研修等）
累計参加者数：323人
- ・累計防災士資格取得者数：66人




▲ 防災士養成講座の様子

20 水道事業広域実施 平成30年度～

水道事業の新任職員向け研修をはじめ、技術研修などの実務研修を広域開催。

- ・水道事業実務研修の開催
（新任職員研修（基礎業務研修＋施設見学）、技術研修（管路の事故実例、ダクタイル鉄管設計・管理等））
累計参加者数：161人




施設見学の様子▶

れんけいこうち広域都市圏ビジョンの推進

01 れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進事業 平成30年度～

産学官民の外部有識者で構成する「れんけいこうち広域都市圏ビジョン推進懇談会」や圏域市町村長及び高知県知事で構成する「れんけいこうち広域都市圏推進会議」等を開催・運営し、れんけいこうち広域都市圏ビジョンの着実に推進。また、れんけいこうち広域都市圏の取組のほか、連携市町村が実施する様々なイベント情報等を集約し、ウェブサイトを通じて情報発信。

- ・ウェブサイトを活用した広報
累計閲覧数：17,523ビュー



第1期れんけいこうち広域都市圏ビジョンにおける取組実績

① 第1期 分野KPIの達成状況

分野	指標	基準値 2016 (H28)	目標値 2022 (R4)	実績値				
				2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
(1) 圏域全体の 経済成長のけん引	製造品出荷額等	5,678億円	6,400億円以上	5,945億円 (92.9%)	5,855億円 (91.5%)	5,472億円 (85.5%)	—	—
	県外観光客入込数	424万人	454万人以上	441万人 (97.1%)	438万人 (96.5%)	266万人 (58.6%)	267万人 (58.8%)	371万人 (81.7%)
	観光総消費額	1,101億円	1,246億円以上	1,104億円 (88.6%)	1,096億円 (88.0%)	648億円 (52.0%)	700億円 (56.2%)	966億円 (77.5%)
	県外からの移住組数	683組	1,225組以上	934組 (76.2%)	1,030組 (84.1%)	963組 (78.6%)	1,167組 (95.3%)	1,185組 (96.7%)
(2) 高次の都市機能の 集積・強化	高知赤十字病院のドクターヘリ搬入患者数（受入のみ）	20人	150人	—	69人 (46.0%)	79人 (52.7%)	43人 (28.7%)	61人 (40.7%)
	高知みらい科学館利用者数	—	200,000人	—	214,591人 (107.3%)	114,412人 (57.2%)	116,418人 (58.2%)	136,861人 (68.4%)
(3) 圏域全体の生活関連 機能サービスの向上	新規就農者数	276人	320人以上	271人 (84.7%)	261人 (81.6%)	217人 (67.8%)	213人 (66.6%)	214人 (66.9%)
	自主防災組織の組織率	93.3%	100%	96.3%	96.5%	96.8%	97.1%	97.4%
	ファミリー・サポート・センター提供会員数	486人	920人以上	—	—	797人 (86.6%)	906人 (98.5%)	977人 (106.2%)

※ 各年度実績値のパーセンテージは、目標値（R4）に対する達成率

第1期れんけいこうち広域都市圏ビジョンにおける取組実績

② 第1期 事業KPIの達成状況(1/2)

分野	事業名称	指標	目標値 2022 (R4)	実績(達成率)					累計
				2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
(1) 圏域全体の 経済成長の けん引	No.01 れんけいこうち広域都市圏 ビジョン推進事業	懇談会の開催回数	3回/年	2 (66.7%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	2 (66.7%)	-
		推進会議の開催回数	1回/年	1 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	-
		ウェブサイトの閲覧件数	4,800ビュー/年	3,101 (258.4%)	3,696 (77.0%)	3,786 (78.9%)	3,473 (72.4%)	3,467 (72.2%)	-
	No.02 統計データ活用事業	研修会への参加者数	累計514人	136	115	80	98	141	570 (110.9%)
		応用学習会への参加市町村数	22市町村/年	-	21 (95.5%)	0 (0.0%)	20 (90.9%)	11 (50.0%)	-
	No.03 日曜市出店事業	「れんけい小間」延べ開設数	300回/年	226 (75.3%)	259 (86.3%)	141 (47.0%)	130 (43.3%)	174 (58.0%)	-
		「れんけい小間」への来客数	24,000人/年	14,873 (99.2%)	20,424 (136.2%)	4,838 (20.2%)	3,590 (15.0%)	9,176 (38.2%)	-
	No.04 地場産品販路拡大推進事 業	見本市等における商談成立件数	75件/年	151 (604.0%)	143 (190.7%)	228 (304.0%)	112 (149.3%)	126 (168.0%)	-
		見本市等における参加事業者数	30事業者/年	61 (610.0%)	51 (170.0%)	22 (73.3%)	87 (290.0%)	48 (160.0%)	-
		まるごととっぼんにおける年間販売額	800万円/年	-	1,199 (149.9%)	477 (59.6%)	-	-	-
		まるごととっぼんにおけるパンフレット配布部数	3,000部/年	-	5,323 (177.4%)	1,550 (51.7%)	-	-	-
	No.05 圏域事業者販売等支援事 業	「れんけいブース」における年間販売額	3,200万円/年	-	2,948 (92.1%)	4,677 (146.2%)	5,994 (187.3%)	8,440 (263.8%)	-
「れんけいブース」における事業者支援件数		36件/年	-	75 (208.3%)	86 (238.9%)	73 (202.8%)	152 (422.2%)	-	
No.06 伝統産業推進事業	パンフレット配布部数	5,200部/年	3,157 (60.7%)	3,461 (66.6%)	911 (17.5%)	3,710 (71.3%)	1,130 (21.7%)	-	
	ウェブサイト閲覧数	101,000ビュー/年	993 (39.7%)	36,928 (1477.1%)	87,324 (242.6%)	109,054 (173.1%)	111,599 (110.5%)	-	
No.07 6次産業化推進事業	マッチングセミナーへの参加事業者数	50事業者/年	48 (120.0%)	44 (88.0%)	0 (0.0%)	40 (80.0%)	35 (70.0%)	-	
No.08 大型船舶寄港誘致・誘客促 進事業	高知新港への大型客船寄港回数	100回/年	-	29 (29.0%)	2 (2.0%)	6 (6.0%)	15 (15.0%)	-	
	無料バス運行地域数	6地域/年	-	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	-	
	無料バス乗客数	180人/年	-	91 (50.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	-	
No.09 広域観光推進事業	分析地点数	120地点/年	190 (158.3%)	-	-	-	-	-	
	新規周遊観光商品数	3本/年	-	3 (100.0%)	9 (300.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	-	
	旅行会社発行の紙・WEB媒体への造成商 品掲載数	30商品/年	-	-	-	40 (133.3%)	27 (90.0%)	-	
No.10 インバウンド観光推進事業	観光案内所の外国人利用者数	3,370人/年	273 (8.1%)	3,568 (105.9%)	254 (7.5%)	240 (7.1%)	1,413 (41.9%)	-	
No.11 人工知能(AI)を活用し た外国人観光客への対応	外国人観光客のシステム利用者数	3,662人/年	47 (1.3%)	277 (7.6%)	55 (1.5%)	136 (3.7%)	171 (4.7%)	-	
No.12 空き店舗等情報発信事業	ホームページの閲覧数	42,000ビュー/年	4,107 (164.3%)	35,735 (1429.4%)	37,921 (90.3%)	57,392 (136.6%)	56,847 (135.4%)	-	

第1期れんけいこうち広域都市圏ビジョンにおける取組実績

② 第1期 事業KPIの達成状況(2/2)

分野	事業名称	指標	目標値 2022 (R4)	実績(達成率)					累計
				2018 (H30)	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	
圏域全体の経済成長のけん引(続き)	No.13 二段階移住推進事業	ポータルサイト閲覧数	累計195,000ビュー	65,058	50,371	73,105	-	-	188,534 (96.7%)
		イメージ動画閲覧数	累計214,000ビュー	60,308	142,389	17,901	-	-	220,598 (103.1%)
		二段階移住新規相談件数	累計490件	89	108	85	93	131	506 (103.3%)
		二段階移住パスポート発行部数	累計185部	29	30	41	55	34	189 (102.2%)
		二段階移住組数	累計60組	4	7	6	5	5	27 (45.0%)
(2)	No.14 新高知赤十字病院への支援	高知赤十字病院から圏域内への助産師派遣回数	36回/年	-	12 (33.3%)	8 (22.2%)	7 (19.4%)	11 (30.6%)	-
高次の都市機能の集積・強化	No.15 高知みらい科学館機能の強化	理科学習の実施校数	100校/年	-	84 (84.0%)	72 (72.0%)	69 (69.0%)	84 (84.0%)	-
		理科学習の受講児童生徒数	5,700人/年	-	5,233 (91.8%)	3,903 (68.5%)	4,079 (71.6%)	5,358 (94.0%)	-
		出前教室の実施校数	40校/年	-	-	14 (35.0%)	7 (17.5%)	8 (20.0%)	-
		出前教室の受講児童生徒数	800人/年	-	-	498 (62.3%)	282 (35.3%)	655 (81.9%)	-
		科学体験展示実施延べ市町村数	16市町村/年	-	-	18 (112.5%)	23 (143.8%)	23 (143.8%)	-
(3)	No.16 子育て支援事業(ファミリー・サポート・センターの広域連携)	ファミサポ設置に向けた検討等について高知市が関わった(相談等含む)市町村数	累計12市町村	7	1	1	0	0	9 (75.0%)
		講習会への広域受講市町村数	累計12市町村	4	0	0	0	3	7 (58.3%)
		広域利用に向けた検討等について高知市が関わった(相談等含む)市町村数	累計12市町村	1	0	0	0	0	1 (8.3%)
		情報交換・情報共有した市町村数	累計33市町村	33	(33)	(33)	(33)	(33)	33 (100.0%)
	No.17 新規就農者の確保	相談会での個別相談件数	累計150件	11	7	0	24	12	54 (36.0%)
	No.18 体験型地域資源開発・活用事業	実施プログラム数	累計300件	-	-	50	70	122	242 (80.7%)
		イベント実施エリア外からの参加割合	70%/年	-	-	64.1 (91.6%)	70.4 (100.6%)	73.9% (105.6%)	-
	No.19 防災リーダー育成事業	防災人づくり塾修了者数	累計1,050人	207	216	92	132	167	814 (77.5%)
	No.20 水道事業広域実施(人材育成等)	高知市職員研修への参加者数	累計151人	33	38	28	26	36	161 (106.6%)
	圏域全体の生活関連機能サービスの向上	No.21 職員交流による連携強化と能力向上	高知市への派遣職員数	6人/年	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)
高知市職員研修への参加者数			50人/年	67 (223.3%)	73 (146.0%)	5 (10.0%)	129 (258.0%)	49 (98.0%)	-
防災士資格取得者数			16人/年	-	11 (110.0%)	0 (0.0%)	34 (340.0%)	21 (131.3%)	-

(留意点) ※目標値は、最終の第1期ビジョン(令和3年度末改訂)に基づき記載。

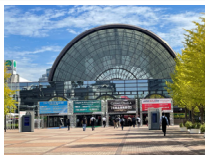
※一部の指標については、目標の達成状況等を踏まえ、年度末のビジョン改訂時に目標値修正を行っており、この場合の達成率は修正前の目標値を基に算定しているため、必ずしも上表に記載の目標値とは関連しない。

内容を拡充・強化する取組

地場産品の販路拡大（地場産品販路拡大推進事業）

● 関西圏の展示会への出展機会創出

平成30年度から継続して圏域事業者の共同出展支援を実施してきた「グルメ&ダイニングスタイルショー」（東京都）に加え、新たに「**Good Foods EXPO 関西**」（大阪府）への**共同出展機会を創出**する。



● 高知市、高知商工会議所、(株)地域商社こうちとの三者協定に基づく支援体制強化

令和5年7月13日に締結した、高知市・高知商工会議所・(株)地域商社こうちとの三者協定のもと、**外商に係るセミナー開催や展示会出展・商談会後のフォローなどにより、圏域事業者をバックアップ**することで、販路拡大・外商支援の更なる促進を図る。



▲「第1回 Good Foods EXPO 関西」(R4.9) @インテックス大阪の様子

● 関西圏での市場調査の実施

令和4年度に東急ハンズ江坂店（大阪府）で開催した「はじめまして こうちフェア」に続き、県が推進する関西戦略と共に高い事業効果を上げるための連携方法を探るため、テストマーケティングの一環として**地場産品PR・物販イベントを年内に開催**する。

移住促進（二段階移住推進事業）

● 二段階移住プロモーションの強化

二段階移住制度の認知度を更に向上させることで、潜在的な移住検討者にアプローチし、そこから新規相談ひいては二段階移住実績の増につなげるため、第1期に制作したプロモーション動画等のコンテンツを活用しつつ、**新たなデジタルコンテンツを制作するなど、効果的なプロモーションの強化**に取り組む。



ANA機内誌「翼の王国」7月号に掲載された、高知の魅力や二段階移住制度をPRする記事

圏域事業者の支援（圏域事業者販売等支援事業）

● 圏域内での販売支援強化

高知大丸ローカルティフロア内「**れんげいブース**」での**地場産品の継続的な販売支援**を行うとともに、同フロア内の**チャレンジショップ・チャレンジキッチンにおいて事業者の新規出店を後押し**し、事業者育成を図る。また、**TSUNAGUマーケット等のイベントを開催**することで、圏域内での地場産品の認知度向上と販路拡大を支援する。

EBPMの推進（統計データ活用事業）

● 研修テーマの拡充

統計ツールの活用方法等に関する研修を継続して開催するほか、新たに「**政策立案**」に関わる**最新の社会経済情勢に関する研修や、各市町村での産業連関表の作成促進につながるものなど、研修テーマを拡充**することで圏域全体で更なる実践的なEBPM（根拠に基づく政策立案）の推進を図る。

伝統的産品の販路拡大（伝統産業推進事業）

● 「高知ものづくり紀行」第2弾の制作・掲載

ハンドメイドECサイト「Creema」に出品している**伝統的産品等の魅力や職人の技術などを紹介する特集記事「高知ものづくり紀行」第2弾を新たに制作・掲載**し、ECサイト等でのPR強化を通じて、圏域の伝統的産品等の更なる知名度向上・新規顧客獲得を支援する。



インバウンド観光の促進（大型船舶寄港誘致・誘客促進事業）

● 大型客船寄港に合わせたイベントの開催

高知新港への大型外国客船寄港に際し、今後の本格的な観光需要回復に向けたファン獲得及び圏域への周遊観光促進につなげるため、**地場産品販売及び圏域市町村の魅力をPRするイベントを高知市内で開催**する。



より効果的な事業展開・新たな取組

広域周遊促進（広域観光推進事業）

● デジタルプロモーションの推進

圏域への観光を検討または予定している旅行者に、「**旅行行程をイメージできる**」情報を分かりやすく伝えるための**デジタルマップ等**を制作することで、利便性の向上及び更なる周遊促進を図り、ひいては観光客入込数の増加を目指す。



SDGsの推進（SDGs推進事業）

● 特設サイト・パートナー登録制度の運用開始、広報イベントの開催

圏域市町村が実施するSDGsに関連するイベントや地域活動等の情報を一元的に発信する**特設サイトや圏域住民等のパートナー登録制度について、9月頃に開設・運用を開始**するとともに、SDGs Week（国連でSDGsが採択された9月25日を含む1週間）に合わせて、**取組の周知及びパートナー登録を推進する広報イベントを開催**する。



令和5年度れんけいこうち広域都市圏推進会議における意見交換内容

【議題1】 デジタルデバйд対策

■ 提案市からの意見・提案等

香美市	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体で進展するデジタル化の潮流を踏まえ、「誰一人取り残されない」社会を実現するため、中山間地域をはじめ、デジタルデバйд対策に取り組む必要がある。 ・スマホが主流となる時代が既に到来していることから、高齢者向けのスマホ教室などに取り組んでいくべきであり、「防災リーダー育成事業」で開催している「防災人づくり塾」のように、各市町村にサテライト会場を設け、行政職員が現地でサポートするなど、各市町村の取組だけでなく、行政事務効率化の観点からも、れんけいこうちとしての取組を検討できないか。
-----	--

■ 取組紹介や意見交換の概要

いの町	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から携帯電話事業者と連携してスマホ教室を開催しているが、デジタルに興味のない方も多く、人数の確保が課題である一方で、日頃からスマホを活用している方からは、キャッシュレス決済や家計簿アプリなど、より便利な使い方を気軽に相談できる窓口が欲しいという意見が多い。 ・れんけいこうちの取組として、携帯電話事業者と協定等を結び、携帯ショップのない地域において、役所などを拠点とした定期的なスマホ相談会等を実施することで、居住地の区別なく、様々なニーズに的確に対応できるようになり、スマホの所有率向上にもつながるのではないかと。
日高村	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のスマホ普及率100%を目指す「村まるごとデジタル化事業」に令和3年度から取り組んでおり、令和4年6月現在、普及率は約80%まで増加した（事業実施前から15ポイント増）。スマホに必要性を感じていない高齢者等も多かったが、地域通貨ポイントの付与や、スマホよろず相談所の設置、健康アプリ開発などの取組が普及率向上に寄与した。 ・現在、全国の自治体、企業が横断的にデジタルデバйд解消に取り組むための新たなスキーム構築に向けた検討・事業展開の場として、一般社団法人の立ち上げに向けて動いているほか、令和4年12月に高知県、高知大学、株式会社富士通ラーニングメディアとの4者で「高知県版デジタルデバйд解消施策の構築に関する協定」を締結し、知見を県内に広げる取組を進めている。
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省が携帯ショップ等でのスマホ教室開催に取り組んでいるが、本県には携帯ショップがない町村が多いので、令和4年度にスマホサポーター養成事業を設け、6自治体において70名超のサポーター養成に取り組んでいただいた。 ・「高知県版デジタルデバйд解消施策の構築に関する協定」は、元々日高村が中心となり研究されていたデジタルデバйд対策を、県としても3者の取組を支える形で協働していこうとするものであり、今後、県内他市町村にも展開していきたい。
宿毛市	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの高普及率を背景に、様々な場面でマイナンバーカードの活用促進を図るための「市民カード化構想」として、①園児登降圏等管理システム、②各種施設等利用サービス、③共通診察券サービス、④市民ポイント付与サービス、⑤証明書発行、⑥データ活用プラットフォームサービスの6事業に取り組むこととしており、その恩恵を十分に享受いただくにはスマホの利用が必要不可欠である。スマホ等のデジタルデバイスを持っていただくことに加えてデジタルデバйд対策に取り組むことが重要であるため、れんけいこうちや県の取組を踏まえながら、本構想を進めていきたい。

■ 高知市の考え方

<ul style="list-style-type: none"> ・国が掲げる「デジタル田園都市国家構想」では、深刻な人口減少・少子高齢化などに直面する地方において、デジタルを活用しながら地方創生に取り組むことで「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指しており、各地方自治体においても、今後、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の策定などを通じて、積極的にデジタル技術を導入・活用した地方創生の取組を進めていくこととなる。 ・その一方で、急速に進展するデジタル化の潮流においても、「誰一人取り残されない」社会を実現するためには、デジタルインフラ整備をはじめ、デジタルデバイスの普及促進、デジタルリテラシーの向上など、多様な面でデジタルデバйд対策の取組が必要とされている。 ・スマホ教室の開催などは、スマホやデジタルサービスに馴染みのない方にもその利便性を知っていただき、スマホの普及・活用を促進する具体的な解決策の一つであり、既に国や県において様々な取組や市町村への支援策が展開されている。 ・四万十市からは携帯ショップが身近にない、あるいは相談の待ち時間が相当かかることを背景に、「スマホをはじめとするデジタルデバイス操作に関する相談窓口の設置」、いの町、香南市からは「携帯電話事業者との連携によるデジタルリテラシー教育の推進やスマホ教室の開催」など、他にもデジタルデバйд対策に係る取組や課題、提案等をいただいたので、国、県及び各市町村の取組状況等を整理し、役割分担を明確にしながら、れんけいこうちの枠組みにおいて相乗効果を図ることのできる取組について検討していく。

令和5年度れんけいこうち広域都市圏推進会議における意見交換内容

【議題2】 訪日外国人を含む観光客の圏域周遊促進

■ 高知市からの意見・提案等

- ・コロナの感染症法上の位置付けが5月8日以降、5類に移行されたことや、円安等の経済情勢により、これまで落ち込んでいた観光需要がインバウンドを含め回復傾向にある。
- ・県が、大阪・関西万博を見据えたインバウンド観光客の誘致に注力されている中、れんけいこうちとしても相乗効果を発揮しながら、観光需要増加に対して、圏域全体でベクトルを合わせ、観光客の周遊促進等に取り組み、県勢浮揚につなげていきたい。

■ 取組紹介等

四万十市	・観光や食を紹介するパンフレットの多言語化や、四万十市観光協会ではタブレットや翻訳機の導入による観光案内機能の強化に取り組んでいる。また、海外の文化や宗教観への理解を深めるため、飲食店や宿泊施設等を対象に食習慣や基本的な挨拶等に関するセミナーを開催予定である。
安芸市	・パンフレットの多言語化には取り組んでいるが、観光ガイドの多言語対応はなかなか進んでおらず課題である。
安田町	・中芸地域では、文化庁から日本遺産として認定されている「中芸のゆずと森林鉄道のストーリー」を資源として活用し、台湾をターゲットにインバウンド観光客向けの周遊ツアー造成やPR活動に取り組んでいるが、多言語に対応した観光ガイドの不足などが課題であり、翻訳機の導入や養成講座実施等によるおもてなし力の向上が必要である。
土佐清水市	・7年前から台湾の台北城市科技大学からインターンシップ生を受け入れており、今年度は4名を受け入れ予定である。市観光協会での研修を経て、実際にホテルや旅館で1年間研修を受け、市内の観光案内にも取り組んでいただいている。

■ 意見交換の概要

情報発信拠点の機能強化について

四万十市	・こうち観光ナビツーリストセンターの情報発信拠点としての機能は有効だと感じており、大阪・関西万博を機としたさらなるインバウンド観光客の増加を見据え、情報発信機能の強化に期待する。
高知県	・大阪・関西万博に向け、これまでも大阪観光局や関西エアポートなどに協力いただき、都市型観光の大阪と自然体験型観光の高知をセットに情報発信に取り組んできた。今後さらに大阪との連携を深め、共同での海外プロモーションなどに取り組んでいく。
高知市の考え方	・高知市帯屋町商店街に立地するこうち観光ナビツーリストセンターでは、圏域市町村の多言語パンフレット等の設置や観光PR動画の上映により、国内外の観光客の圏域周遊促進に取り組んでいる。新たなパンフレット設置など、情報発信機能の強化について、利用者ニーズ等を踏まえて、随時、検討・改善を図っていく。

外国客船寄港について

土佐市	・高知新港への外国客船の寄港再開により大きな経済効果が見込まれるが、船の発着時間に合わせた日帰り観光のためその効果には地域格差がある。圏域全体に経済効果が広がる取組ができないか。	
安芸市	・外国客船寄港による経済効果が東部にはなかなか回ってきていないので、シャトルバスを含め、県内全域に波及効果のある取組に期待する。	
高知県	・連携市町村への周遊促進には、オプションルツアーのコースに高知市以外の立ち寄り先をできるだけ多く組み込むことが効果的である。団体客の受入体制等に一定の条件があること、また、高知新港から片道2時間以内というのが大体の目安となるが、県では定期的にセールス活動に取り組んでいるので、情報をいただきたい。	・台湾チャーター便に関しては平均搭乗率93.6%と非常に好調であり、今後は個人客やアウトバウンドにも対応できるよう定期便化を目指している。チャーター便の乗客向けの周遊コースには、外国客船のオプションルツアーと違って距離の制限がないので、四国周遊コースの幅をさらに広げていけるよう台湾の旅行会社へ働きかけていく。
高知市の考え方	・令和元年度に実施した土佐市、香南市を周遊する無料のバスツアーは利用客から大変好評であったが、各船会社においても寄港地で有料のオプションルツアーを提供していることから、船会社と個別の事前調整が必要であり、また、時間的な制約から高知市から遠方の市町村へのバス運行には限界がある。本年度は「MSCベリッシマ」の寄港に際し、高知市中心部での圏域内地場産品の販売・観光PRイベントを実施予定としている。イベントを通じた高知へのリピーター獲得や、地場産品の販路拡大など、後々の波及効果拡大につながるよう取り組んでいく。	

多言語対応等について

安田町	・多言語対応の観光マップ等の制作や、昨年度「広域観光推進事業」で制作したプロモーション動画を海外プロモーション用に多言語対応させることができないか。	
室戸市	・歩き遍路の外国人への対応として、看板等の多言語表記ができないか。	・室戸市ジオパークや土佐清水市ジオパーク、香美市の龍河洞、佐川町の地質館など、地質に関わる資源が豊富なことを踏まえ、ジオパークの視点からインバウンド観光の取組が考えられないか。
高知県	・プロモーション動画で紹介されている場所や「ゆずとりんてつ」、また、室戸市提案の地質の繋がりとといった視点についても、県全体での発信を検討していく。	・看板等の多言語化に関しては、県が補助金やアドバイザー派遣などの制度を用意しているので、個別にご相談いただきたい。
高知市の考え方	・プロモーション動画の制作は昨年度をもって終了しているため対応が難しいが、本年度制作予定のデジタルマップでは、日本語、英語、繁体字、簡体字の4言語以上に対応予定であり、また、同じウェブサイト上で各市町村の魅力的なスポットはもとより、プロモーション動画で紹介した周遊ルートも掲載することとしているので、海外の方にも旅行行程をイメージしてもらえると考えられる。	